

「平成 18 年度当初予算要求状況」

に対するご意見等提案用紙

氏名	「大分に青少年科学館を作る会」 (会の構成員については別紙のとおりです)		
市町村名	大分市(事務局所在地)	年齢	-
(ご意見・ご提案等記述欄)			
<p>まず初めに、平素より県の運営にご努力を続けておられるスタッフの皆様 様に深い敬意を表します。</p> <p>さて、先日発表された平成 18 年度当初予算要求状況についてですが、 二つの点について意見を述べたいと思います。</p> <p>まず第一点目ですが、昨秋、県におかれては「大分県長期総合計画」を 発表され、その重点戦略において、“青少年に自然科学への興味・関心を 抱かせる環境の整備”をするとか、“青少年が自然科学を体験し、親しむ ことのできる施設やプログラムを充実”するといった方針を打ち出されま した。</p> <p>本長期計画の期間は平成 17 年度から 27 年度までの 11 年間とされ ており、平成 18 年度当初予算は、事実上の長期計画初年度の予算案とし て、県がどの程度、長期計画の実現に向けて積極的に取り組もうとされて いるのか、我々県民も興味深く見守っているところです。</p> <p>しかしながら、18 年度予算要求の状況を見る限り、本県において少年 から青年を対象とした科学教育、科学的な資質の向上に向けたプログラム や施設の設置に関して具体的な事業を見いだすことができません。</p> <p>地域における人材育成や文化的レベルの向上といった問題は、最も基礎 的、根本的な課題であるが故に、長い年月にわたった幅広い議論と県民挙 げての努力が必要であり、11 年という長期計画の期間は決して長すぎる ものではありません。</p> <p>県におかれましては、重点戦略に明記されたこの分野の課題克服に向け て、18 年度事業から早急に取り組みを開始されるよう強く提案するとと もに、心よりお願いするものです。</p>			

次に第二点目としてそのための具体的な事業を提案したいと思います。

まず一つめとして、青少年の理科教育の推進及び県民の科学的素養の向上に向けた戦略会議の設置を提案します。これは、県内外の大学関係者、小中高校教育者、PTA関係者、科学愛好団体、家庭の主婦、企業関係者等からメンバーを集め、今後大分県においてどのような哲学、戦略の下に理科教育や科学文化の向上を図って行くべきかを議論するものです。

二つ目は、理科教育及び科学文化水準向上のための中核施設として全国の多くの自治体が設置している科学館の調査を行うことです。そのための候補を別紙に列挙します。

特に、Exploratorium (San Francisco, USA) は、国内の既設の科学館の職員が研修や視察に訪れるなどレベルや規模が素晴らしいだけでなく、そのユニークさにおいても大分には大いに参考になるのではないかと考えます。

大分における理科教育、科学文化水準の向上を目指すためには、まず県庁、教育委員会が全日本、世界レベルを体験することが必要なのではないかと考えます。

以上